

ソーシャルワーク方法論

[講義] 第2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》福岡 麻紀 m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

本科目は、ソーシャルワークにおける相談援助の理論と方法（人と環境のとりえ方と交互作用、相談援助の過程、グループワーク、ケアマネジメント、スーパービジョン、記録）を学び、その知識を具体的な支援事例の理解に応用できることを目指す。

【学修目標】

- 1 相談援助の展開過程や相談援助に必要な知識と技術について説明ができ、具体的な事例に応用できる。
- 2 相談援助における人と環境との交互作用に関する理論、ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて説明できる。
- 3 ソーシャルワークにおけるスーパービジョン、記録について説明できる。
- 4 グループワークについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション ソーシャルワークにおける援助関係	ソーシャルワークの理論と方法を学ぶ目的を理解する。 援助関係（ラポール、バISTEック）について説明できる。	福岡
2	ソーシャルワークの展開過程 1	展開過程の概要を理解する。 ケース発見の方法について説明できる。 エンゲージメント（インテーク）の意味と役割について説明できる。	福岡
3	ソーシャルワークの展開過程 2	アセスメント アセスメントの定義と目的、内容、方法について説明できる。 アセスメントで収集される情報について説明できる （バイオサイコソーシャルモデル）	福岡
4	ソーシャルワークの展開過程 3	アセスメント アセスメントで収集される情報について説明できる （統合的アセスメント枠組み）。	福岡
5	ソーシャルワークの展開過程 4	アセスメント アセスメントで得られた情報の整理法（マッピング技法）を説明できる。 アセスメントの留意事項について説明できる。	福岡
6	ソーシャルワークの展開過程 5	プランニングの意義、目的、方法、留意点について説明できる。	福岡
7	ソーシャルワークの展開過程 6	支援の実施の目的、内容、方法について説明できる。 モニタリング・効果測定の方法、目的、内容、方法について説明できる。 支援の終結と結果評価、アフターケアの内容、方法を説明できる。	福岡
8	ソーシャルワークの構造と機能	ソーシャルワークの構造と機能について説明できる。	福岡
9	人と環境の交互作用に関する理論	システム理論、生態学理論等の環境のとりえ方と交互作用について説明できる。	福岡
10	ケアマネジメント	ケアマネジメントの歴史と原則、意義、目的、方法について説明できる。	福岡
11	スーパービジョン	スーパービジョンとコンサルテーションの意義と目的、方法、留意点について説明できる。	福岡
12	集団を活用した支援 1	グループワークの意義と目的を説明できる。 グループワークの原則、展開過程を説明できる。	福岡
13	集団を活用した支援 2	セルフヘルプグループを活用した事例を通して、援助方法や支援を理解する。	福岡

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	ソーシャルワークの面接技術	面接の目的と構造、形態を説明できる。 面接の基本技術について説明できる。	福岡
15	ソーシャルワークの記録技法	ソーシャルワーク記録の意義と目的、記録方法について説明できる。	福岡

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『12 ソーシャルワークの理論と方法【共通科目】』中央法規 2021

【参考書】

講義内で紹介

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「ソーシャルワークの理論と方法」に該当する。また、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学修の準備】

- ・予習として、シラバスに準じて事前に教科書を読んでおくこと。分からない語句については用語辞典等を用いて事前に調べること。（2時間）
- ・復習として、授業後は毎回要点整理を行い、分からない点については自分で調べるとともに、次回の授業までに担当教員に確認すること。（2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士としての実務経験を活かし、人と環境の交互作用に関する理論や相談援助の展開過程、グループワーク等のソーシャルワークに関する基本的知識について講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している